

登別市中央地区まちづくり協議会 第3回ワーキンググループ 議事録

開催概要

日 時 令和5年2月20日（月） 18:00～19:00
場 所 登別中央ショッピングセンターアーニス 1階 ワクチン接種会場
出席者 ワーキンググループ委員 別紙のとおり
事務局・オブザーバー 別紙のとおり
その他参加者
登別市中央地区まちづくり協議会 西尾副会長
登別市職員：佐々木主査（市民協働G）

議事内容

1 開会

事務局（総務部本庁舎整備推進グループ）が進行

2 コンセプトづくりに向けた協議

- ・事務局より前回ワーキンググループの振り返りと今回の協議事項を資料により説明。
- ・事務局で事前に検討したコンセプト（案）4案を示した。

【参加した委員等からの主な発言】

- ・人口減少が進んでいるなかで子育ての充実が重要である。
- ・子どもが育って人が集う施設をつくるのが良いのではないか。
- ・子どもを遊ばせるのにきらんやナチュの森のような施設があると良いのでは。
- ・登別には「人が集う」というところがありません。
- ・観光客も登別温泉の他は行く場所がありませんので、そういうところがあった方が良いのではないか。
- ・独自性が強く大事だと思う、前回のワーキンググループでは極端な意見を出させてもらったが、今までのものを破壊するような意見ではなく、これまで築いてきたものはすごいあると思っている。このアーニスもそのひとつ。
- ・これまでの取組が良かったとなるように、今後のまちづくりを進めたい。
- ・人のつながりがこんなに強いまちはないと思っている。
- ・相談もできる良い土壌ができていて、良い環境であると思う。
- ・独自性を持った取組ができればと考えている。
- ・みんながイメージしてわかりやすいキャッチコピーが良いのでは。

- ・最近、地域おこし協力隊の方と面談することがあったが、「ボーダーレス」というキーワードが印象に残った。
- ・色々な人、色々なものを受け入れるという、「ボーダーレス」ということばをキーワードにしても良いのかなと思う。
- ・人が集まるってということが結構大事だと思う。
- ・登別には温泉があって外国人なども集まるし、地元の人もいるので、色々な人が集まる複合的なところがあると良い。
- ・人を集められる施設であったり環境を作り上げていくことが重要、人が集まらないとまちは元気にならない。
- ・コンセプトとして言葉で表現することは難しいと思う。
- ・個人的には、登別にない道の駅をつくることで外からお金が集まってくるし、人が集まってくると考えている。
- ・温泉に宿泊した人が帰り道に寄ったり、学校帰りに人が集まるのではないか。
- ・「つながり」、「ボーダーレス」、「人が集まる」などキーワードがあったと思う。
- ・どこに価値を持って行くかっていうのが凄く大事である。
- ・ワーキンググループで協議を進めるなか、「どこに価値をもってまちづくりを考えていくか」、「何を大事にして考えていくか」ということがコンセプトにつながるのではないか。
- ・多くの方が共有できるものや価値をどう持たせていくかということを考えていけば、もう少し話が進められると思う。
- ・30年前、中央地区のまちづくり関わってきた先達たちの話を聞いてみたい。

3 その他

【事務局より説明】

- ・次回の開催は3月中旬を予定している。
- ・開催前にアンケートを送ることがあるかもしれないが、協力をお願いしたい。
- ・コンセプトについて、今年度中に決定するスケジュールを組んでいたが、無理に年度内に決める必要はないと考えており、委員の皆さまとしっかり協議しながら決めていきたい。
- ・次回は30年前に中央地区のまちづくりに取り組まれた方をお呼びして、当時の思い、苦労話などを聞くことも考えている。

4 閉会

19時00分 閉会

以上